

# 生駒市景観形成基本計画の全体構成（案）

キーワード（パターン）を吟味し、生駒らしい景観を形づくる普遍性を持ち、そこからデザインへと反映できるようにものに再整理した。（前回のパターンから絞り込みを行った）

当初4章（景観形成の方針）、5章（景観形成の推進に向けて）と分けていたが、第3章を踏まえてどう展開していくか、を記述する章としてまとめた。

## 第1章 はじめに （計画の基本的事項）

計画の目的、位置付け、構成などの基本的な事項を述べる

- 改訂の背景
- 目的

**<本計画でめざすもの>**

**①生駒の景観の特性（生駒らしさ）を認識し**  
**<景観特性>**

**②その上で前提とすべき「基本原則」に則って、**  
**<基本原則>**

**③景観を構成する（成らしめている）要素を読み解き認識し、**  
**<キーワード(パターン)>**

**④市民・事業者・行政が自ら考え、協働のもとで景観形成を図る**  
**<方針・推進方策>**

**計画とする**

- 位置付け
- 基本計画の構成
- 景観とは、景観まちづくりとは

## 第2章 生駒の景観形成の基本理念と景観特性

生駒の良好な景観の形成に向けた基本理念を示すとともに、景観特性（なり立ち）を明らかにする

**1 基本理念**

生駒の良好な景観の形成に当たっての基本的な考え方や姿勢を示す

**2 生駒の景観特性**  
生駒の景観をどう認識していくのか、を示す

**景観特性**

**1 地勢**  
地形・流域など「大景観」として生駒のアイデンティティを体現

**2 地域性**  
自然、田園、市街地景観など「中～小景観」として場所に応じて多様な特性を持つ

**3 暮らし**  
1、2の景観は人の暮らしの中で支えられている

## 第3章 生駒の景観形成の基本原則とキーワード（パターン）

生駒の景観特性を踏まえて前提となる基本原則を定め、それを構成する（成らしめている）要素を読み解いた上で、普遍的なキーワード（パターン）を抽出する

**1 基本原則**  
特性を伸長するため前提として遵守すべき原則を設定

**基本原則**

**1 地勢**  
地形の骨格を認識し尊重する

**2 場所性**  
場所の特性を読み解き、調和を図る

**2-1. 歴史・文化の文脈**  
歴史・文化の文脈を受け継いでいく

**2-2. 市街地開発の文脈**  
市街地開発の経験を学び蓄積を生かす

**2-3. 界隈の空気**  
界隈が醸す空気を読み調和させる

**3 暮らしの営み**  
暮らしの関わりの中で景観を育てる

**2 キーワード(パターン)**  
生駒らしい景観を形づくる普遍的なキーワードを抽出

**キーワード(パターン)**

[Blank boxes for keywords]

## 第4章 景観形成の推進に向けて （方針と推進方策）

基本原則に則り、キーワード（パターン）を駆使しながら、市民、事業者、行政でどのように取り組むか、取り組みの方針と推進方策、役割分担を記載する

（以下、検討の視点）

- 【パターンを使った景観形成】**
- パターンの組み合わせ方（ランゲージ）
  - パターンの展開方策
- 【スケール別の景観形成】**
- 都市（大景観）
  - 地域（中景観）
  - 敷地（小景観）
- 【主体別の景観形成】**
- 市民
    - 日頃の景観を意識する
    - パターンで学習する（景観教育）
    - 自分自身でできることを考え、行動するなど
  - 事業者
    - パターンを用いて計画等を考えるなど
  - 行政
    - 基本計画の周知啓発に取り組む
    - パターンを届出等にかさず（景観計画、景観条例）
    - 公共事業整備等でパターンをいかす
    - ガイドライン等で分かりやすく示すなど